



通常国会がスタートしました

皆さま、ご安全に！村田きょうこです。

10月5日(月)から第222回臨時国会がはじまりました。12月12日(土)までの69日間の会期となりますが、食料品の消費税減税法案など、重要な法案が提出される見込みです。中東情勢の影響で物価高が続く中、暮らしを守ることを第一に国会審議に臨みます。

村田きょうこの各種SNSはこちらから→



1. 臨時国会始まる：高市総理「所信表明演説」を分析

【臨時国会第1週の流れ】

10月5日：臨時国会初日。本会議で高市総理の「所信表明演説」が行われる。

10月7～9日：衆議院・参議院で「所信表明演説」への代表質問が行われる。

【所信表明演説とは？】

総理が臨時国会冒頭や総理就任時に行う演説
⇨「施政方針演説」毎年1月に召集される通常国会冒頭で総理が行う演説

施政方針演説はその年の基本方針を示す一方、所信表明演説は政権の現時点での重点課題等を述べる。今回の所信表明演説は、約30分。

【今回の所信表明演説の特徴は？】

●「国内投資を起点とした経済成長」を強調

政府による積極的な投資支援を通じて国内投資を増やし、それによって、賃上げ、消費拡大、税収増につなげる、という構想が示された。

●国内投資から賃上げへの波及をどのように実現するのか？

企業の設備投資が増えても、自動的に労働者の賃上

げにつながるとは限らない。また、最低賃金について、2024年10月の石破総理の所信表明演説では「2020年代に全国平均1500円」という目標が示されたが、高市政権では「遅くとも2030年代前半のできる限り早期」としている。

投資が実際に賃上げにつながるまで、どの程度の期間が必要と考えているのか。その根拠は何か。働く人の暮らしに直結する問題への政府の説明を求めています。

ちなみに、今回の演説の中で、最も多く使われた言葉は、「投資」(37回)でした。

●演説で具体的な政策について言及されなかった分野

30分の演説では、働き方、子育て支援、年金、農業、医療・介護従事者の処遇改善、男女共同参画、障がい者施策、政治改革等について具体的な言及がなし。私たちの暮らしにとって、重要な分野ばかりです。もちろん、投資も成長も重要ですが、人々の日々の営み、今、まさに困っている人、悩んでいる人…「暮らし」「人」が見えない演説だったと感じました。皆さまから頂いた声をもとに、「人」を大切に、皆が幸せになる政策を提案し、実現していきます。



←ナブテスコ労働組合
神戸支部定期大会にて
藤田鐵工所労働組合→
定期大会にて



2. 所属委員会が決まりました！

臨時国会の開会に合わせて、新たな所属委員会が発表されました。

今後1年間、下記の委員会に所属します。

予算委員会	委員
経済産業委員会	委員
消費者問題に関する特別委員会	筆頭理事

委員会は、所属したい委員会の希望届を提出した上で、党内で調整が行われ、決定します。必ずしも希望が通るわけではないので、所属委員会が発表されるとき(先輩議員から電話連絡があります)は、毎回ドキドキしています。



↑今国会での初仕事。10/5 消費者特別委員会にて、筆頭理事として委員長の選任に関する動議を提出

4. 9/19～10/30 に JAM の皆さまを訪問しました



JAM 神奈川定期大会にて



日本車輜労働組合定期大会にて



穴吹工務店労働組合定期大会にて



東京製綱労働組合定期大会にて



JAM 農建機部会定期総会にて



↑とりべー彦市議の出陣式に

土肥こうすけ滋賀県議の
個人演説会にて→



全コマツ労連定期大会にて

【発行元】JAM 本部 政策政治グループ
〒105-0014 東京都港区芝2-20-12
11F
[TEL:03-3451-2451](tel:03-3451-2451) 公式サイト
⇒<https://murata-kyoko.com/>